

番号	氏名	研究テーマ
1	若林 一弘	民俗学
2	岡崎 秀紀	① 能海研究 近代仏教、チベット仏教との交流史 ② 近代化産業遺産 WK/バルトンの業績(松江市水道の歴史)
3	豊島 秀明	島根の中の朝鮮文化について
4	田中 文也	ライフワークで今日まで研究してきた分野は ①医療放射線防護 ②北東アジア古代史 ③精神心理学(人間の人格の構成原理) ④民族学(民族性の構成原理) ⑤人類社会学(人類社会の科学的法則の解明)ですが、今般2つの全国組織を設立し、②北東アジアレベルでの古代史解明の課題を中心的に解決する必要性が高まっています。 組織的に古代史の情報を集約するために3つの目録である始皇帝と徐福に関する研究テーマを深めなければなりません。これは中国と韓国と日本と一部ロシアにかかると北東アジア全体を網羅する研究課題であり、古代にこのような交流があった事が解明できれば、21世紀に歴史と文化を元にした平和的交流を再現できるものと考えます。これは人類社会に貢献する課題となります。
5	牛尾 昭	地域活動、国際交流、にない手育成、ボランティア
6	小倉 敏郎	地域経済の動向・支援
7	森須 和男	「鬱陵島と石見」・「石州赤瓦について」・「抜荷」・「近世朝鮮漂着民」・「近世日本海流通」・「石見神楽」など
8	湯屋口 初實	
9	坂東 朋子	・ 海外旅行は45回行っています。 ・ 日韓関係、朝鮮半島、石見地方の歴史、戦争、原子力行政に関心があります。石見空港、サンビレッジ浜田スケート場の活性研究がしたいです。 ・ コロナ前は、県大生と地域活性イベントを計画、実行して、総理大臣賞をもらいました。
10	今岡 充	中山間地域を広く抱える郷土島根を一つの題材として「地域社会の今後の在り方」に関心を持っている。
11	大橋 美津子	得意分野は環境問題です。今まで市民研究員として参加させていただいた中でも、環境分野の研究に院生と一緒に取り組んできました。しかし、自分独自の研究としては、思うように時間を割いて取り組んでこられなかった反省もあり、考慮の末、再度、申し込みをすること致しました。私は、農業者でもあり、地域政策として、浜田の特産品を使った商品開発に、院生や学部生と一緒に取り組んでみたいという希望もあります。
12	森 永壽	
13	大國 晴雄	世界遺産ノ石見銀山遺跡とその文化的景観と地域の持続可能な発展を研究したい
14	森本 隆裕	1 石見地域における持続可能な農業生産について 2 石見地域における持続可能な水産生産について 3 島根県における持続可能な交通網の整備について 4 石見地域における地域防災について 5 石見地域における地域情報化について
15	石橋直子	白鳥(しらしま)の赤法印(あかほういん)―隠岐の島町北端で語られた浦島型伝承の成立と分化をめぐる考察―
16	三井 伸正	司法行政(島根あさひ社会復帰促進センター)で勤務し、公認心理師キャリアコンサルタントを活かして社会適応に関連した地域活動をしております。現在HAMADA教育魅力化パートナーとして高校の探究活動に携わっています。
17	吉野 和則	人口減少や高齢化などにより過疎の中山間地域では、移動手段を持たない高齢者は日常生活が維持できない状況にある。とりわけ島根県の山間地での高齢者は先天的で自助互助では解決できない。一つ食料品の買い物においても地元商店の廃業や公共交通の廃止や減便、あるいは公共交通空白地域により、移動販売により何とか保っている。しかし、保存食が中心であり生鮮食料品が充足しているとは言えない。そこで、実際移動販売を活用している高齢者の購買状況を把握したい。そのデータ分析により、現状の不足を導き、今後の共助における指標としたい。そのデータ収集作業と分析を島根県立大学生と行いたい。対象となる地域は益田市見地区移動販売業者も見込んでいる。
18	福原 孝浩	・石西地域における強制労働に従事されたコリアンの跡 ・日朝関係史(近世・近代・現代) ・日本のハンセン病の歴史にみる朝鮮人ハンセン病について
19	束村 康文	地理学(地誌、自然地理学(特に気候学)) 海外での地域開発や紛争地域や災害被災地域での国際協力企画立案、事業形成 日本での村落の地域調査、地域振興のための企画 海外や日本でのNGO組織運営(資金調達、人材雇用、事務所管理、交渉・調整)